

# 私たちの道

## MCWAYを感じる

～ 能動的に仕事をする ～

### 1. 採用デザインコンサルでの経験

- ・初めて社内プロジェクトに事務局として参加させていただき、勉強や情報を「受ける側」から「提供する側」に
- 採用デザインコンサルというサービス自体の内容や料金について考える機会をいただき、ゼロに近いところから自分達でつくっていく感覚は、悩み思考する負荷は増える一方で、作り上げたときのやりがいや面白さは大きくなる
- 採用において本当にクライアントが求めていることは何なのか？クライアントの本質的な課題解決になる情報提供になっているか？と真剣に考える時間も増えた

### 2. 人事制度改革のコンサルでの経験

- ・人事制度のコンサルに入る中で、制度自体の改善の後の運用や教育が最も重要であり組織を良くしていく上で最も価値が生まれる時だと実感
- コンサルとしてどのようにその運用面の支援ができるのか、組織の中の実行者としては動けない中どこで価値をつくることのできるのか様子見をしていた
- 先輩が社長以外の幹部社員やマネージャーを巻き込んでいくために、人事制度の構築の際に幹部セッションを設けて一緒に等級定義を考える時間をつくったという事例を聞いた
- クライアント先に貢献する方法はそのクライアントのためを思い、自分事として捉えられたときに色々な方法やアイデアが浮かび、実際にアクションされている点が凄いなと感じた

### 3. 上記経験からの気づき

- ・経験のある人や自分よりも知識や立場がある方の意見に従い、ついていった方が意見の相違も起こらず楽ではあるが、楽だけで仕事を楽しいまたは面白いとは思えない。クライアントや世の中のニーズを自分ごととして捉え、貢献するというステージに立つことで、アイデアが生まれ、一生懸命真剣に自ら動くからこそ、周りの人が力を貸してくださり、ものごとが動いていくことを実感することができる。それによって自分の行動していることの価値を実感することができる
- 目的の矢印を周りの目や仕事の負荷量におくのではなく、クライアントへの価値提供に矢印を向け自分ごととして捉え仕事を自ら創造するスタンスで取り組む